

[横浜市大倉山記念館]
令和5年度業務計画及び収支予算
[日比谷花壇・西田装美共同事業体]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市大倉山記念館
所在地	横浜市港北区大倉山二丁目10番1号 大倉山公園内
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造3階、塔屋1階
敷地・延床面積	延床面積 1,877.23 m ² (大倉山記念館部分) 管理区域面積：4,073 m ²
開館日	昭和59年10月(昭和7年竣工)

2 指定管理者

団体名	日比谷花壇・西田装美共同事業体
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目1番1号
代表者	代表者氏名 株式会社日比谷花壇 代表取締役 宮島 浩彰
設立年月日	昭和25年12月6日
指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和4年4月1日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

【運営理念】

大倉山記念館の「文化芸術活動の拠点機能」を最大限発揮して、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞や参画機会を提供することで、市民の主体的な活動の促進・多様な文化芸術活動によるコミュニティの形成につなげ、「自然と文化とともに暮らす街 大倉山」を実現させるとともに、市の「文化芸術創造都市のまちづくり」の推進に貢献します。

【基本方針】

方針1 全スタッフがコンシェルジュとなり、利用者目線に立った、公平で統一された高品質な接客サービスを実施します。

- ・代表団体は設立 70 周年、全国約 200 店舗を展開するフラワーショップとしての実績と経験から育んだ接客のプロとして、利用者の気持ちに寄り添い、ホスピタリティーあふれるサービスを実践いたします。
- ・「利用者＝お客様」と考え、独自の接客マニュアルや研修制度を活用し統一されたサービスを提供いたします。
- ・施設はもちろん、地域の情報も把握し、利用者や市民が求める情報をお伝えできる「まちのコンシェルジュ」となります。
- ・正面入り口に季節の生花を使った装花、ロビーやトイレなどに季節の花を飾り、癒しとくつろぎの空間を演出します。

方針 2 私たち自ら地域に出ていき、文化芸術を通じて、地域課題の解決や地域の安全・安心に協働して取り組みます。

- ・地域の一員として、関係団体や施設などと連携、情報共有を行い、地域課題や要望の把握に努めます。
- ・文化芸術活動を通じて協働し、私たちの意資源とノウハウも活かして地域の課題解決や要望の実現につながる管理運営を行います。
- ・新規採用するスタッフは、可能な限り横浜市、港北区在住の方とし、また高齢者や、女性も活躍できる環境を整えます。
- ・地域住民や近隣施設と連携した地域一体防災訓練や防犯訓練を実施し、地域の安全安心拠点としての役割を担います。

方針 3 既存の事業は継続・発展を基本に、利用者とともにより良い活動を目指していきます。

- ・現在行っている協働は継続・発展を基本とし、関係者のご意見も伺いながら、より良い発展への形を模索しています。
- ・当施設の利用者の高齢化が進んでおり、若い世代が新たに活動に加わることが求められるなど、地域の実情をとらえ、課題の解決につながるような協働を推進します。
- ・私たちが持つ地域協働やボランティア育成のノウハウを活かし、施設や地域の財産を活かした、魅力あるあらたな協働を積極的に実施し、一緒に推進する仲間を作ります。

方針 4 市民の自主・自発的な活動を尊重し、市民と私たちが両輪となり、活動を支援します。

- ・文化芸術振興基本法基本方針においても規定されている「活動主体の自発性と自主性が尊重されるべき」という項目に基づき、市民の自主・自発的な活動を尊重し、協働して市民主体による文化の創造、町づくりの推進に寄与する管理運営を実践します。
- ・施設を利用いただいている団体、サークルなどの活動を館内外に周知し、新規会員募集や活動の意活動発展を支援します。
- ・当館が主導となり新しい文芸活動団体を立ち上げ、活動を支援します。最終的には、該当団体が自主自発的に活動し、自立した団体として広く活動できるよう育成します。

方針 5 世代や社会属性を超えたあらゆる方々に文化芸術に触れる機会を提供します。

- ・あらゆる方に公平に接することはもちろん、多様な情報発信手段の活用、出張講座な

どのアウトリーチ活動、無料講座の企画などによって社会属性を超えてあらゆる方々に文化芸術活動に関わる機会を提供します。

- ・施設開放日を設け、当館を知っていただき、気軽に参加できる文化芸術活動を行います。新しい趣味や知的向上につながり、また、地域を知る機会を提供します。

方針6 平等公平な対応・人権の尊重・積極的な情報の公開・発信を原則とします。

- ・横浜市の指定管理者として行政の代行者であるという自覚を持ち、各種法令を遵守するとともに公平公正に業務を行います。
- ・責任者の配置と施設スタッフへの教育、利用者目線での接客・接遇、差別的な取り扱いの排除と誰にでもわかりやすい案内やコンプライアンスの遵守などを徹底します。

方針7 SDGsの観点を持ち、自然や環境に配慮した、維持管理・運営を徹底します。

- ・横浜市が定める環境管理計画に従い行動し、ISO14001環境マネジメントシステムに連動します。さらに横浜市の取り組みに迅速に対応し、区内の施設として必要な役割を果たします。
- ・植栽の維持管理作業で発生する選定枝や落ち葉などは、園内で堆肥化をすすめ、花壇や樹木の育成に活用することを検討します。
- ・維持管理・運営の目標を策定し環境活動に取り組みます、設定した目標は年度毎に結果を検証し、積極的に改善を図ることで環境活動の取り組みレベルを向上させます。
- ・自然や環境への配慮・共生共存を意識した維持管理運営を意識し、実践することで、横浜市SDGs認証制度”Y-SDGs“の認証を目指します。

方針8 私たちが培ってきたノウハウと実績、ネットワークを最大限生かし、地域住民や施設と一体となり、強い愛情と熱意を持って大倉山記念館と地域の発展に貢献します。

- ・私たちの運営する指定管理施設などにおける地域協働の実績や、70年にわたる接客業の経験に基づくお客様目線のおもてなしを当施設の運営に投下します
- ・全国約20店舗を展開する拠点や月間150万PV（ページビュー）の代表団体のWEBサイトなどの広域ネットワーク、国内外の様々な展覧会への出展実績や新しい文化を日本に根付かせてきた経験を最大限活用します。
- ・重要文化財をはじめとした歴史的建造物の管理運営実績と数々の表彰に裏打ちされた高品質な維持管理技術といった、私たちの持つ、豊富なノウハウを最大限に活かし、地域住民・市民や施設関係団体とともに、地域への強い愛情と熱意をもって、大倉山記念館と地域の発展に貢献する運営を行います。

(2) 令和5年度の業務の方針

ア 全体について

本年もコロナウイルスによる影響を鑑み、「横浜ガイドライン」を遵守しながら、可能な限り利用者が利用しやすい施設運営を致します。また、市の文化政策に賛同するとともに、私たちの「ノウハウや実績」と利用者や市民の「施設や地域への想い」を真摯に受け止め、新しい取り組みやサービスを展開し、今まで以上に利用者や市民が地域・文化に親しみ、コミュニティを活性化させるとともに、地域の

安全・安心、そして文化拠点となる施設の土台づくりを進めます。

イ 使命1 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる

市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し、関係者ともに策定する利用ルールの徹底で、どなたにもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実行します。

ウ 使命2 文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する

地域に密着した文化芸術活動の拠点として、「歴史・文化・芸術」をテーマに、体験や交流による地域文化コミュニティの活性化・発展に寄与し、愛され続ける「施設・地域・まちづくり」を実現し、多様な市民の芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供します。

エ 使命3 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

これまでの協働や活動を尊重しながら、協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や環境に合わせた新しい協働を展開します。そして市民参加型での施設の維持井・運営にとともに取り組みます。また、地域の団体、しない文化施設とネットワークを築き、文化的コモンズの形成を牽引します。

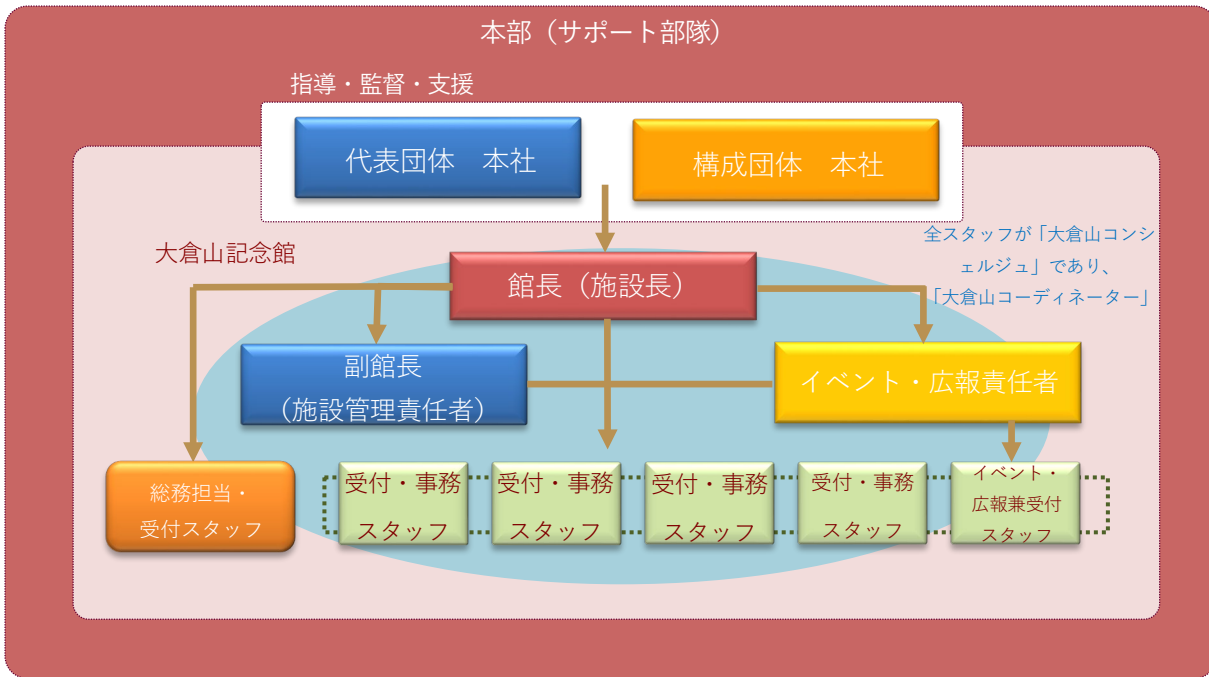
オ 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

当施設の貴重性・重要性を理解し、常駐する維持管理担当者による、きめ細やか予防保全策を講じることで、利用者の安全・安心を確保します。また、経験に基づく緻密な収支計画および本部による執行確認により、効果的・効率的で持続可能性の高い維持管理・施設運営を実現します。

カ 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

コロナ禍も踏まえ安全対策にも積極的に取り組み利用者が安心して来館できる施設を維持します。イベント運営においても安心、安全への取組を日々徹底し、対策内容を広く告知し参加者数の回復に努めます。

4 運営組織の構造、人員配置



職名	雇用形態	主な役割	勤務時間	休日設定
館長 1名 現施設管理者・館長	正社員	・施設全体の管理運営 ・事業計画・予算計画作成 ・市対応、住民対応・地域連携促進	8時間/日	週2日
副館長 1名 現施設管理責任者 防火管理者（甲種）取得者 第二種電気工事士 危険物取扱者（乙種4種）	正社員	・館長代理 ・施設維持管理責任者 ・今期の当施設管理経験を生かした修繕計画立案	8時間/日	週2日
イベント・広報責任者 1名 イベント企画 広報業務経験者	正社員	・自主、共催等の事業立案及び実施 ・地域連携サポート	8時間/日	週2日
イベント広報担当者兼 受付スタッフ 1名	契約社員	・自主・共催事業運営補佐 ・利用団体のサポート・受付 ・広報作成・活用補佐	8時間/日	週2日
受付スタッフ 4名 （内2名はシェアードスタッフ として総務・庶務の担当）	パート タイマー	・利用団体受付 ・施設案内 ・自主、共催事業サポート ・行政報告・会計・決済・庶務補佐	5~8時間/日	週3~5日（事務収 支担当は週5日）
第一種電気工事士	正社員	電気設備全般の月次点検及び不具合時の一次対応	随時（月1回 以上）	
電気主任技術者 （関東電気保守協会）	外部委託	・自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保 守監督業務及び保守、法令点検	隔月	

館長1名を中心に副館長とイベント広報専任スタッフ各1名を配置し、施設保全・利用促進を両立する管理運営を実現します。

第3期の施設管理責任者とイベント企画運営・広報業務責任者を担当スタッフとして配置し、経験に基づく先を見越した修繕・施設管理と市民・利用者の立場に立ったイベントを遂行します。

管理経験を活かし、全スタッフが施設や地域の顔としてお客さまをおもてなしする「大倉山コン

シェルジュ」であり、文化芸術の知識を有する「大倉山コーディネーター」であるという高い意識を持ち、お客さまを出迎え、業務を遂行します。

施設の特徴と接客待遇をしっかりと習得したスタッフによる研修マニュアルの策定と計画的な研修を遂行し人材開発・スキルの平準化を進め、誰もが、高い接客レベルで対応できるようにします。

5 令和4年度の業務の取組

(1) 文化事業

施設の特性を活かした事業や地域と一体となり事業を展開し、文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供及び地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進を行ってゆく。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(2) 施設運営

これまでの協働や活動を尊重しながら、協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や、環境に合わせた新しい協働を展開し、文化芸術を媒介として地域の力を結びつける、地域コミュニティのベースとなる文化的コモンズの形成につなげる。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(3) 施設管理

当施設の貴重性・重要性を理解し常駐する維持管理担当者による、きめ細やかな予防保全策を講じることで、利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(4) 収支

効率的・効果的な経費削減策を講じ、高品質のサービス提供と適正なコスト運用の両立を図るとともに、魅力的な事業実施、助成金や補助金の取得などにより、指定管理料のみに依存しない収入構造を目指します。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

PDCAを確実に運用しながら、日報・月報 業務計画書及び業務報告書の作成・管理をし、毎月の業務評価（モニタリング）の場で報告・共有をする。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(6) その他

・施設賠償責任保険への加入・関係法令などの遵守・市及び関係機関との連絡調整・近隣対策に力を入れ、安心安全且つ便利に使用できる施設を目指す。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

6 使命の指標の達成状況と重点的取組事項

(1) 使命1 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	総来場者 数	年間施設利用人数	— 85383 人	120,00 0人	—	—	—	120,00 0人	—
		オープンデイ開催時人数	550人 —	1,300 人	—	—	—	1,600 人	—
2	貸室利用 率	ホール	92%	91%	—	—	—	94%	—
		ギャラリー	80%	97%	—	—	—	100%	—
		第1集会室	84%	82%	—	—	—	85%	—
		第2集会室	52%	70%	—	—	—	73%	—
		第3集会室	47%	67%	—	—	—	70%	—
		第4集会室	81%	76%	—	—	—	79%	—
		第5集会室	79%	81%	—	—	—	84%	—
		第6集会室	69%	74%	—	—	—	77%	—
		第7集会室	74%	80%	—	—	—	83%	—
		第8集会室	37%	63%	—	—	—	66%	—
		第9集会室	48%	73%	—	—	—	76%	—
		第10集会室	92%	88%	—	—	—	91%	—
	年間平均	69%	79%	—	—	—	82%	—	
3 ★	年間新規導入備品数		1件	2件	—	—	—	2件	—
4 ★	年間新規備品目標稼働数		10件	30件	—	—	—	80件	—
5 ★	アーティストバンクへの年間 総人数登録数		0名	10名	—	—	—	40名	—
6 ★	アーティストバンクからの年 間アーティスト稼働人数		0人	5名	—	—	—	20名	—
7 ★	大倉山アートマップの更新頻 度		1回	1回	—	—	—	2回	—
8 ★	年間見学会開催数 (塔屋を含 めたツアー)		2回	12回	—	—	—	12回	—
9 ★	見学会開催後アンケートによ る満足度調査 (満足度)		80%	90%	—	—	—	90%	—
10 ★	大倉山ご縁マ ルシェ	開催数 (土日 開催)	—	月1回	—	—	—	月2回	—

		来客数（/日）	—	30名	—	—	—	30名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
11★	大倉山ご縁カフェ	開催数（土日開催）	—	月1回	—	—	—	月2回	—
		来客数	—	30名/日	—	—	—	30名/日	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
12★	陽だまりカフェ	開催数	—	月1回	—	—	—	月1回	—
		来客数	—	10名/日	—	—	—	10名/日	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
11★	全施設の印象について（満足度）		80%	90%	—	—	—	95%	—
12★	共有スペースの印象について（満足度）		80%	80%	—	—	—	80%	—
13★	備品貸出、使い勝手について（満足度）		80%	80%	—	—	—	80%	—
14★	スタッフの対応について（満足度）		90%	95%	—	—	—	95%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	利用状況の把握を致しました
		R 5 達成指標	アンケートでの各項目の満足度を達成している（定量指標 11 から 14 による）
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケートでの各項目の満足度を達成している（定量指標 11 から 14 による）
		R 8 実績	—
2★	年度末アンケート調査にて備品に対する満足度を調査	R 4 実績	調査確認を行いました
		R 5 達成指標	利用者の要望に対応できている。（満足度 80% を目標とする。）
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者の要望に対応できている。（満足度 80% を目標とする。）

		R 8 実績	—
3 ★	館内掲示板にてアーティストの募集を実施する	R 4 実績	募集実施を行いました
		R 5 達成指標	開館中は随時掲示する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	開館中は随時掲示する。
		R 8 実績	—
4 ★	SNSを活用しアーティストの募集を実施する	R 4 実績	募集実施を行いました
		R 5 達成指標	3か月に1回を目標として募集する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	3か月に1回を目標として募集する。
		R 8 実績	—
5 ★	積極的に施設の見学に対応する	R 4 実績	ホームページに致しました
		R 5 達成指標	開館中は随時対応する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	開館中は随時対応する。
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し関係者とともに作成する利用ルールの徹底でどなたでもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実行します。

(2) 使命2 文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目		R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1 ★	大倉山なるほど物語	来館数	210名	180名	—	—	—	180名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
2 ★	こども記念館探検	来館数	—	50名	—	—	—	100名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
3 ★	職場体験	来館数	—	10名	—	—	—	10名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—

4★	NPO 法人街カフェ大倉山ミエル 8月ギャラリーにて親子の為の【アートジャム】イベント開催	1回	1回	—	—	—	1回	—	
5★	港北区区民活動支援センター 2月オープンデイでの港北区内【まちの先生】紹介	1回	1回	—	—	—	1回	—	
6★	横浜ベビーHIP HOP スタジオ 母と子の為のダンスワークショップ、地域活性イベント協力	—	1回	—	—	—	1回	—	
7★	特定非営利活動法人STスポット横浜 プラットフォーム事業における地域小学校へのアーティスト派遣	3件	3件	—	—	—	3件	—	
8★	建築物や地域の歴史・魅力を発信する事業数	4件	20件	—	—	—	25件	—	
9★	館主催事業数	23件	100件	—	—	—	120件	—	
10★	フラワーアレンジメント教室 (年6回)	来館数	98名	180名 6回	—	—	—	180名 6回	—
		満足度	95%	90%	—	—	—	90%	—
11★	花音コンサート (年4回)	来館数	225名	160名/ 回	—	—	—	320名/ 回	—
		満足度	90%	90%	—	—	—	90%	—
12★	花育教室 (年4回)	来館数	30名	40名/ 回	—	—	—	40名/ 回	—
		満足度	80%	90%	—	—	—	90%	—
13★	オープンギャラリー	来館数	250名	300名	—	—	—	300名	—
		満足度	80%	90%	—	—	—	90%	—
14★	オープンデイ	来館数	320名	300名	—	—	—	400名	—
		満足度	90%	90%	—	—	—	95%	—
15★	港北区民交響楽団コンサート	来館数	52名	60名	—	—	—	60名	—
		満足度	85%	90%	—	—	—	90%	—
16★	今昔建築サロン	来館数	40名	40名	—	—	—	40名	—
		満足度	75%	90%	—	—	—	90%	—
17	大倉山新春寄席	来館数	55名	40名	—	—	—	60名	—

★		満足度	80%	80%	—	—	—	85%	—
18	高校生ギャラリー ★&ミュージック フェスタ	来館数	—	500名	—	—	—	500名	—
★		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
19	オープンデイ ★～おしえてまち の先生PR展～	来館数	550名	1200名	—	—	—	1200名	—
★		満足度	85%	90%	—	—	—	90%	—
20	大倉山なるほど ★物語	来館数	125名	180名	—	—	—	180名	—
★		満足度	90%	80%	—	—	—	90%	—
21	こども記念館探 ★検	来館数	—	50名	—	—	—	100名	—
★		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
22	職業体験 ★	来館数	12名	10名	—	—	—	10名	—
★		満足度	95%	90%	—	—	—	90%	—
23	広報よこはま ★港北区版	12件	12件/ 年	—	—	—	12件/ 年	—	
24	★タウンニュース	2件	10件/ 年	—	—	—	10件/ 年	—	
25	★えがお	12件	12件/ 年	—	—	—	12件/ 年	—	
26	★Facebook	115件	100件/ 年	—	—	—	100件/ 年	—	

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1 ★	各事業終了毎にアンケートを集計	R 4 実績	各回集計を行いました
		R 5 達成指標	40回/年
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	40回/年
		R 8 実績	—
2 ★	アンケートによる満足度調査	R 4 実績	平均84%でした
		R 5 達成指標	80%以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	80%以上
		R 8 実績	—

3 ★	アンケート回収率	R 4 実績	70%
		R 5 達成指標	50%以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	50%以上
		R 8 実績	—
4 ★	アンケート結果による新規 SNS 媒体	R 4 実績	0 社
		R 5 達成指標	5 社/年
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	10 社/年
		R 8 実績	—
5 ★	他事業への関心調査	R 4 実績	本年度は無し
		R 5 達成指標	自主イベントの再考
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	自主イベントの再考
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

地域に密着した文化芸術活動の拠点として、「歴史・文化・芸術」をテーマに、体験や交流による地域文化とコミュニティの活性化・発展に寄与し、愛され続ける「施設・地域・まちづくり」を実現し、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する。

(3) 使命3 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1 ★	港北区役所地域振興課と連携し地域の安全マップを作成	実施	1回/年更新	—	—	—	2回/年更新	—
2 ★	港北警察署と連携し、正面入口に防犯メールの内容を掲示し、地域の防犯対策に寄与します。	実施	メールに連絡が入り次第掲示版にて更新	—	—	—	メールに連絡が入り次第掲示版にて更新	—

3 ★	港北消防署と連携し、情報提供コーナーを開設、文化財に対する保全意識の向上、地域の市民共催団体関係者と実施している救命訓練等の状況をお知らせし、安心して施設を利用できるよう努めます。	実施	2回/年更新	—	—	—	2回/年更新	—
4 ★	(公益財団法人) 大倉精神文化研究所 ・創立90周年イベント開催(大倉邦彦とタゴール) ・撮影実績パンフレット Vol. 2, 3 ・図書館 PR 協力 (本についての座談会や紹介) ・紙芝居レンタル ・3階回廊を活用した常設パネル展示	実施	20件	—	—	—	20件	—
5 ★	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール ・障がい者向けのフラワーアレンジメント出張事業 ・ギャラリーにてアート展示会 ・大倉山パラアートフェスティバルの開催	未実施	5件	—	—	—	5件	—
6 ★	シンコースポーツ・サンワックス ・フラワーアレンジメント出張事業 ・レンタル装花、館内装花 ・共催事業開催時のイベント協力 ・パンフレット等配架協力	実施	5件	—	—	—	5件	—
7 ★	鶴見川流域ネットワーク ・移動水族館の誘致 ・パンフレット等配架協力	実施	2件	—	—	—	2件	—
8 ★	NPO 法人街カフェ大倉山ミエル ・夏休みの期間、子どもものた	実施	1件	—	—	—	1件	—

	めのアートジャムフェスタを開催								
9★	港北区区民活動支援センター 港北区内のまちの先生派遣としてオープンデイに事業協力	実施	1件	—	—	—	1件	—	
10★	大倉山講演会	来館数	30名	各40名	—	—	各70名	—	
		満足度	70%	80%	—	—	90%	—	
11★	大倉山ジョイフルコンサート	来館数	—	各40名	—	—	各70名	—	
		満足度	—	90%	—	—	90%	—	
12★	大倉山こどもフェスティバル	来館数	400名	1000名	—	—	1500名	—	
		満足度	90%	90%	—	—	90%	—	
13★	大倉山秋の芸術祭	来館数	4500名	4000名	—	—	5000名	—	
		満足度	85%	80%	—	—	90%	—	
14★	小さな丘のメリークリスマス	来館数	1100名	1000名	—	—	1500名	—	
		満足度	90%	90%	—	—	90%	—	
15★	のんびるフェスタ	来館数	—	500名	—	—	500名	—	
		満足度	—	80%	—	—	80%	—	
16★	港北美術展	—	継続実施	—	—	—	継続実施	—	
17★	大倉山ドキュメンタリー映画祭	来館数	550名	300名	—	—	300名	—	
		満足度	85%	80%	—	—	80%	—	

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1★	各施設へ期待する事へのヒアリング（事前打ち合わせ）	R 4 実績	実施しました
		R 5 達成指標	40回/年
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	50回/年
		R 8 実績	—
2★	各施設へ協働により当初の問題が解決したかのヒヤリングアン	R 4 実績	協議しました
		R 5 達成指標	80%以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	90%以上
		R 8 実績	—

	ケート調査：満足度)		
3 ★	各施設へ問題点解決へ期待する事のヒアリング（反省会実施）	R 4 実績	実施しました
		R 5 達成指標	20 回/年
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	25 回/年
		R 8 実績	—
4 ★	イベント開催への感想（アンケート調査：満足度）	R 4 実績	実施しました
		R 5 達成指標	80%以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	90%以上
		R 8 実績	—
5 ★	イベント開催における賑わいの創出（イベント参加人数）	R 4 実績	平均 350 名
		R 5 達成指標	定員の 8 割以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	定員の 8 割以上
		R 8 実績	—
6 ★	アンケート調査によるターゲット層への反響（全体の参加人数に占める割合）	R 4 実績	80%
		R 5 達成指標	過半数
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	7 割以上
		R 8 実績	—

ウ 使命 3 を達成するために重点的に取り組む事項

協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や環境に合わせた新しい協働を展開し、市民参加型での施設の維持・運営に取り組みます。

(4) 使命 4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1 ★	全蛍光灯の LED 化 約 220 本	65%	100%	—	—	—	実施済み	—
2 ★	節電・電力料金見直し等による電気料金削減率（対 2021 年度）	高騰につき増額	10%	—	—	—	15%	—
3 ★	ギャラリー壁紙の張り替え	—	100%	—	—	—	実施済み	—
4 ★	施設の管理瑕疵に起因する事故件数 0 件	0 件	0 件	—	—	—	0 件	—
5 ★	法定点検等の実施率 100%	100%	100%	—	—	—	100%	—
6 ★	修繕予算の執行率 90%	60%	90%	—	—	—	90%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1 ★	修繕方法 最善策の 模索	R 4 実績	スタッフ間にて協議しました
		R 5 達成指標	継続実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	継続実施
		R 8 実績	—
2 ★	軽微な修 繕の即日 対応	R 4 実績	即時対応
		R 5 達成指標	継続実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	継続実施
		R 8 実績	—
3 ★	アンケート・ヒヤリング等による施設の使い	R 4 実績	日々確認励行
		R 5 達成指標	継続実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—

	やすさや 快適さの 向上確認	R 8 達成指標	継続実施
		R 8 実績	—
4 ★	管理運営 費推移の 要因分 析・改善	R 4 実績	月次確認
		R 5 達成指標	継続実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	継続実施
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

当施設の貴重性・重要性を理解し、利用者の安全・安心を確保しながら、効果的・効率的で持続可能性の高い維持管理・施設運営を実現します。

(5) 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

具体的な取り組み

・施設内の安全対策の徹底やその内容を広く告知し利用者が安心して来館できる対策を実行します。

- ① スタッフによる一日2回の館内共有部分の除菌消毒
- ② ご利用者の利用後ごとの各会場の除菌消毒
- ③ スタッフの勤務前に検温の義務付け
- ④ 掲示物やのぼりを掲示し啓発活動に努める等。

利用者に向けた対応

- ① 3密を避けた利用を促す。
- ② 入館時に神奈川県 LINE コロナお知らせシステムへの登録または名簿への記入をお願いする
- ③ 手指消毒の徹底
- ④ 「咳エチケット」の徹底履行
- ⑤ 定期的な換気をしていただく等

事業イベント開催時

- ① 入退室時の手指消毒・検温の徹底をお願いする。
- ② 座席間隔を取り、換気をこまめに行う。

収入対策

- ① アフターコロナに向け、新たな事業サービスを考え、実行して行きます。
 - ・公演のオンライン配信の撮影代の徴収
 - ・オンライン会議向けのスペースやコンテンツの提供 等

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる(使命1)	1.利用者本位の貸出業務への具体的な取組について				
		取組-1 利用者=お客さまと考え、ホスピタリティ溢れるおもてなしの心で応えます	(1)利用者本位の貸出し業務の遂行 ■ご要望やご意見および対応内容の館内等への表示	実施	
	■ご要望やご意見を全スタッフに共有し、課題解決に努めます。		実施		
	■利用ルールの告知		実施		
	●情報コーナーの設置 ■当施設の毎月の催事情報を掲示・配布。		実施		
	■周辺施設の文化事業の情報を収集し、掲示・配布		実施		
	2.取組-2 施設の利用者を第一に考えた貸出業務運営を行います	利用者の利便性向上に向けての取組 ●新規WEBサイトの作成(若年層向けにInstagramを利用)	実施		
		さまざまな利用者への配慮 ■卓上装花用アートフラワー・ステージ用移動式照明機材などの有料貸出開始いたします。	実施		
		■感染防止用卓上仕切りなどの無料貸出	実施		
		■多言語での館内案内表示・アンケート実施など、外国人利用者へ配慮した取り組み	実施		
		■利用者のご意見を伺う仕組み作り館内の目に付きやすい場所にご意見箱を設置	実施		
	3.取組-3 透明で公平・正な貸出業務の運営を実施します	(1)個人情報保護への取組 ■代表団体が取得している、(財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)の「プライバシーマーク」認証に準拠した個人情報保護に努める	実施		
		■グループ内の個人情報保護窓口の管理のもと、法令遵守と情報の漏洩や不正アクセスなどによるデータ破損・盗難・改ざんなどのリスクを十分に理解した上で、取扱い方法・漏洩防止策を構築し、大倉山記念館の個人情報保護管理体制を構築	実施		
■個人情報のリスク調査、管理台帳の作成、リスクチェックシートの作成を実施		実施			
■利用ルールの告知		(再掲)			

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

		2.利用率を高めるための具体的な取り組みについて			
	4	取組-1 施設の貸出状況を館内・WEB サイト上に公開し、空き時間施 設の利用促進を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜市インターネット情報受発信ガイドラインを遵守し、新規WEBサイト(若年層向けにインスタグラム等を利用予定)作成。 ■催しの情報や年度事業計画書・報告書をWEBサイトに掲載 ■施設の貸出状況、次回抽選日、各室の稼働状況をWEBサイトに掲載 	実施	
	5	取組-2 利用率の低い部屋を利用して頂 く為のサービスを検討します	<ul style="list-style-type: none"> ■利用促進の為、期間限定割引対応等横浜市と検討します。 ■ホールなどでの催事に合わせ、控室などの利用をお勧めし利用率向上を図ります。 ■横浜市と相談し、マルシェなどの会場として無料貸出事業を検討します。 	実施	
	6	取組-3 利用者ニーズの把握に積極的 に提案します	<ul style="list-style-type: none"> ■来場者アンケートを分析し、結果を開示。実現可能な要望等に対応します。 ■ご要望やご意見を全スタッフに共有し、課題解決に努めます。 ■利用者のご意見を伺う仕組み作り館内の目につきやすい場所にご意見箱を設置 	実施 (再掲) (再掲)	
評価項目		令和5年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
		3.新規の利用者、来館者を増やすための具体的な取り組みについて			
	7	取組-1 施設の利用方法を積極的に提 案します	<ul style="list-style-type: none"> ■横浜市と相談し、マルシェなどの会場として無料貸出事業を検討します。 ■マルシェ等販売会場としての提案を行います。 ■リモート会議・サテライトオフィスなどの需要に対応します 	(再掲) 実施 実施	
文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる(使命1)	8	取組-2 大倉山アートマップ、アーティスト バンクを創設します	<ul style="list-style-type: none"> ■寄り道コンサート・花音コンサートに参加したアーティストにアーティストバンクへ登録を依頼します。 	実施	
			<ul style="list-style-type: none"> ■ギャラリーを利用されたアーティストの方々にアーティストバンクへ登録を依頼します。 	実施	
			<ul style="list-style-type: none"> ■アートマップを作成し、自主事業や共催事業において周知します。 	実施	
9	取組-3 施設の魅力を伝えるために見学 会を開催し、施設の魅力を伝え ます	<ul style="list-style-type: none"> ■施設見学ツアー参加:希望校に対応 	実施		
		<ul style="list-style-type: none"> □観梅会や大倉山オープンヘリテイジなどの市内イベント開催時のガイドツアー 	年4回		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

	10	取組-4 来館者同士が交流できる大倉山記念館を提供します	<input type="checkbox"/> 大倉山ミーティング(利用者懇談会)の開催	年2回		
			<input type="checkbox"/> サークルラウンジを開催	年1回		
評価項目		令和5年度計画			実施状況	
I 文化事業		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
		提案-1 施設自体の魅力や歴史の発信を行います				
文化財を活用し 魅力を発信する とともに、多様な 市民の文化芸術 活動の鑑賞及び 参加機会を提供 する(使命2)	1	取組-1 施設の特徴を活かし魅力や歴史をPRする事業を市民と共に地域へ向けて展開します	■大倉精神文化研究所作成「ロケ地マップVOL2」を配布し、記念館の魅力の向上につとめます。	実施		
			●施設紹介パンフレットの作成および情報発信 ■現状のパンフレットを参考に、当施設のパンフレットを刷新(コンサートなどの開催された写真や撮影利用時実績などを入れ、記念館の魅力をアピールできるツールとしてバージョンアップを図る)	実施		
			■パンフレットを館内で配布するほか、WEBサイトからのダウンロードも可能とする	実施		
			■重要な箇所は、英語等の多言語での記載も検討	実施		
			<input type="checkbox"/> 催事や地域の季節の情報をお伝えするチラシを制作。館内・商店街・最寄駅・近隣施設等で配布	年4回		
			<input type="checkbox"/> チラシの新聞折込	年4回		
			●歴史的建造物への興味喚起に向けての取組 ■大倉山精神文化研究所や横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテージ)と連携し、配布用チラシを常備し、一般見学者や総合学習授業で来館する小・中学生に配布	実施		
			●オープンデイ <input type="checkbox"/> 年2回実施(2月及び9月)	年2回		
			<input type="checkbox"/> WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
			<input type="checkbox"/> 来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
			●夏のオープンギャラリー <input type="checkbox"/> 年1回実施(8月)	年1回		
			<input type="checkbox"/> WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
			<input type="checkbox"/> 来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
			●オープンデイ <input type="checkbox"/> 年2回実施(2月及び9月)	年2回		
<input type="checkbox"/> 来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上					
●おしえて!まちの先生提供します。 <input type="checkbox"/> 年1回実施(2月)	年1回					

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

		<input type="checkbox"/> WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
		<input type="checkbox"/> 来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
		●今昔建築講座 <input type="checkbox"/> 年2回以上開催(6月～)	年2回以上		
		<input type="checkbox"/> WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
評価項目		令和5年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
2	取組-2 当施設の文化的な価値を受け継ぐために、子どもたちへ伝える機会を提供	●歴史的建造物への興味喚起に向けての取組 ■大倉山精神文化研究所や横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテージ)と連携し、配布用チラシを常備し、一般見学者や総合学習授業で来館する小・中学生に配布	(再掲)		
		●大倉山なるほど物語 <input type="checkbox"/> 年1回実施	年1回		
●子ども記念館探検 <input type="checkbox"/> 年1回実施		年1回			
●職業体験 <input type="checkbox"/> 年1回実施		年1回			
	提案-2 地域の文化活動の拠点として、市民を対象とした鑑賞の機会の提供、創作活動の導入となる講座・ワークショップ等を自ら主催で行います。				
		●大倉山スタンプラリー <input type="checkbox"/> 年1回実施(4月)	年1回		
		<input type="checkbox"/> WEBサイトやSNS等での自主的な発信	1件以上		
		●観梅会開催時の館内梅装飾 <input type="checkbox"/> 年1回実施(2~3月)	年1回		
		<input type="checkbox"/> WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

文化財を活用し 魅力を発信する とともに、多様な 市民の文化芸術 活動の鑑賞及び 参加機会を提供 する(使命2)	1 取組-1 現在実施している事業の継続・ 発展を進めます	●室内楽シリーズ □年1回実施(10月)	年1回		
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信)	3件以上		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計)	80%以上		
		●大倉山記念館「ワークショップ」 (Artsワークショップ) □年1回実施(7月~10月)	年1回		
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
		●大倉山エリア・ミュージシャンによる演奏会開催 □年1回実施(10月)	年1回		
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
		●季節のフラワーアレンジメント教室 □年6回以上開催(4月~)	年6回以上		
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
		●大倉山寄り道コンサート《大倉山サロン》 □年4回以上開催(9月~)	年4回以上		
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
●公募作品をARとして配信 □年3回配信	年3回				
□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上				
□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上				
評価項目		令和5年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
		●大倉山記念館・高校生ギャラリー&ミュージック フェスタ □年1回実施(1月)	年1回		
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

文化財を活用し 魅力を発信する とともに、多様な 市民の文化芸術 活動の鑑賞及び 参加機会を提供 する(使命2)	2 取組-2 感として次世代の芸術文化活動 を担う人材育成・支援に積極的 に取り組めます	●大倉山記念館「落語会」 □年1回開催(1月)	年1回			
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上			
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上			
		○白山高校美術コース作品展 □年1回実施(7月)	年1回			
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%			
		●地元若手アーティストの作品展とワークショップ □年一回実施(9月)	年1回			
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計: 80%以上	80%以上			
		○国際学生交流会(ハーバード) □年1回実施(6月)	年1回			
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上			
	●文化芸術活動団体の施設WEBサイトでの紹介 利用頻度の高い施設や地域で活動する団体を中心 に段階的に展開	実施				
	□紹介団体:3団体以上	3団体以上				
	提案-3 さまざまな経済事情にある方や、高齢者や子どもたち、外国にルーツを持つ方、障が いのあるなしに関わらず、あらゆる市民を対象として、事業展開を行います					
	1	取組-1 子育て世代の支援プロジェクトを 立ち上げ、運営を検討します	○のんびるフェスタ □年1回実施(3月)	年1回		
			□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上		
			□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
○小さな丘のメリークリスマス □年1回実施(12月)			年1回			
□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計			80%以上			
2	取組-2 障がいをもった方々の文化芸術 活動を積極的に支援します	□ギャラリーにおいて、障がい者スポーツセンター 「ラポール」の作品展を行います。	年1回			
		□ギャラリーでの障がいのある方々のアート作品 展示会を誘致いたします。	年1回			

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
文化財を活用し 魅力を発信する とともに、多様な 市民の文化芸術 活動の鑑賞及び 参加機会を提供 する(使命2)	提案-4 区内の学校で芸術文化プログラムを提供します				
	1 取組 地域の子どもたちに対して文化 芸術に触れる機会を提供する 為、継続して横浜市芸術文化 教育プラットフォーム事業に参画し ます。(指標3校)	●横浜市芸術文化教育プラットフォームへの参画 □学校プログラムの実施	年3校以上		
		●地域施設への出張事業 □年1回実施(9月)	年2回		
		□WEBサイトやSNS等で自主的な発信	1件以上		
		□アンケート結果満足度	80%以上		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
	2 その他の取組 記念館の活動、魅力を広く周知 するための広報活動	●広報よこはま等へ掲載依頼および当グループの 広報連携の取組 ■「広報よこはま」や港北区区民活動支援センター 発行の情報ツール等への積極的な掲載依頼	実施		
		■当グループのWEBサイトへのリンクや広報室を 活用したプレスリリースによる広域の広報PRを実施	実施		
		●ソーシャルメディアを活用した情報発信 □Facebookでの情報発信:4日/1回以上	4日/1回以上		
		●関係団体との連携による文化財の保護 ■修繕を実施する際は、横浜市歴史資産調査会 (ヨコハマヘリテイジ)監修のもと、その内容につい て可能な限り情報を開示	実施		
		■当グループが管理運営する他の文化財施設や 全国の文化財施設との連携を深め、情報共有・情 報交換を行う	実施		
		●撮影・ロケの積極的な誘致(1)メディア撮影・ロ ケへの協力 □撮影協力:目標 年間35件	年35件		
		■協力会社やロケ地コーディネート会社への積極 的な情報の開示	実施		
	○ウェディングフォトロケーションとしての活用 □撮影協力:目標 年間2件	年2件			

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する(使命2)	1 取組-1 地域住民や町内会、学校、近隣施設等へ積極的に伺い、協働を推進します	●ボランティア養成講座検討会 □検討会開催:年1回以上	年1回以上		
		●ハニーカフェ&マルシェ □実施:年2回以上	年2回以上		
		●ICTを活用した地域回遊イベント □実施:年1回以上	年1回以上		
		●地域一体防災訓練の実施 □実施:年1回以上	年1回以上		
		●大倉山公園愛護会の活動への協力 (1)大倉山公園愛護会による花の苗植え活動の継続と発展 □植え付けおよびお手入れ活動:年4回以上実施	年4回以上		
		(2)植え替え後の花苗をボランティア協力者へ配布 □植え替え作業時年2回	年2回		
	2 取組-2 大倉精神文化研究所や大倉山公園をはじめ、近隣の地域施設(文化・福祉等)や各種団体、商店街、自治会等とのネットワーク構築につとめ、文化的コモンズの形成を進めるとともに、文化芸術活動を通じた地域連携活動を展開します	●大倉山記念館 花めぐり □年1回以上開催(2月~4月)	年1回		
		□WEBサイトやSNS等での自主的な発信:3件以上	3件以上		
		□参加者アンケート「大変満足」と「満足」の合計:80%以上	80%以上		
		●関係機関等との連携によるPR活動 ■港北区区民活動支援センターでのPR活動	実施		
		■港北国際交流ラウンジとの連携強化によるPR活動	実施		
		●地域の文化活動団体へ支援 ■既存共催事業の継続と発展	実施		
		■地域で活動する文化団体の維持と発展を支援	実施		
		■文化活動を始めたいと考えている方への支援	実施		
●他の文化施設などからの出張授業を互いに誘致・支援 □年5回以上開催(5月~)	年5回				
□WEBサイトやSNS等での自主的な発信	3件以上				

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況	
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
文化芸術を媒介として地域の力を結び付ける(使命3)	3 取組-3 既存の共催・協働事業は継続して支援し、地域の課題解決や文化芸術のハブ拠点としての機能を高めるとともに、人と人が文化芸術を通じてつながる体制を構築します	○大倉山講演会 □年4回実施(3~6月)	年4回		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
		○大倉山秋の芸術祭 □年1回実施(11月)	年1回		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
		○大倉山子どもフェスティバル □年1回実施(5月)	年1回		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
		○大倉山ドキュメンタリー映画祭 □年1回実施(3月)	年1回		
		□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	80%以上		
	○市内の他の文化施設や文化団体等との連携事業 □年1回以上(10月~)	年1回			
	□来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計: 80%以上	80%以上			
	4 取組-4 新規共催事業として演劇やダンスから組織される市民団体による芸術活動の祭典、【大倉山シアターフェスティバル】を検討します	■ ギャラリーの新たな活用法として、アートと演劇などのコラボレーションによる事業を検討いたします。	実施		
	5 取組-5 大倉山記念館を地域の文化を発信、交流する場としての結節点とします	■ 近隣で活動させているアーティストに桶掛けし、ホール・ギャラリーなど、施設内回遊型の「アート・ミーティング」を行い、アーティストの交流・作品発表の場を提供いたします。 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	年1回 80%以上		
	6 取組-6 これからも横浜市の「先進的な文化芸術」と「地域の文化芸術」の接点を繋いでいきます	● 横浜市プログラムへの参画 □年1回実施(10月) □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計	年1回 80%以上		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況		
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	
2 組織的な施設運営 (様式14)	1 必要人材の配置と職能	<ul style="list-style-type: none"> ■館長:施設責任者 1名 ・施設全体の管理運営 ・事業計画・予算計画作成 ・市対応、住民対応・地域連携促進 	実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ■副館長:施設管理責任者 1名 ・館長代理 ・施設維持管理責任者 ・当施設管理経験を生かした修繕計画立案 	実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ■イベント・広報責任者 1名 ・自主、共催等の事業立案および実施 ・地域連携サポート 	実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ■イベント広報担当者兼受付スタッフ 1名 ・自主・共催事業運営補佐 ・利用団体のサポート・受付 ・広報作成・活用補佐 	実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ■受付スタッフ 4名 (内2名はシェアードスタッフとして総務・庶務を担当) ・利用団体受付 ・施設案内 ・自主、共催事業サポート ・行政報告・会計・決済・庶務補佐 	実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ■第一種電気工事士 随時(月一回以上) 電気設備全般の月次点検および不具合時の一次対応 	実施			
		<ul style="list-style-type: none"> ■電気主任技術者(関東電気保安協会)隔月 ・自家用電気工作物の工事、維持および運用に関する保安監督業務および保守、法定点検 	実施			
	2 主要人材の能力担保		<ul style="list-style-type: none"> ■マネジメント研修 連絡調整・業者対応・自主事業運営・総合的能力の取得 	年1回		
			<ul style="list-style-type: none"> ■地域事業研修 市内外で活動する団体の活動理解と施設運営への反映 	年1回		
			<ul style="list-style-type: none"> ■フロントスタッフ研修 あらゆるご利用者に対応できるフロント能力を取得する。手話など障がい者対応等も学ぶ 	年1回		
		<ul style="list-style-type: none"> ■事務研修(上級) 必要な各種帳票類を適切に作成する能力を取得する。個人情報管理に関するスキルアップを図る 	年1回			

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

		■環境保全研修 施設のごみの減量化や資源の有効活用について習得する	年1回		
		■エイド研修(上級) 傷病者発生時の適切な救助・連絡対応のとれるスキルの習得	年1回		
評価項目		令和5年度計画		実施状況	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(様式24)	1 横浜市の事業へ賛同した取り組み	■国際園芸博覧会に向けてシンボルフラワーを定着させます	実施		
		■港北区のキャラクター「港北区ミズキー」を起用し当施設のPRを行います	実施		
		■シンボルマークを広く公募します	実施		
		■利用者の特性を生かしながら、国際色豊かな都市であることをアピールできるイベント「集まれ！世界の楽器、音楽、音祭り」を開催します	実施		
	2 地域協働の促進	■大倉山記念館委員会(仮称)を創設します	実施		
		■東急電鉄とのコラボ企画を提案し、実現へ向け検討します	実施		
		■障害者スポーツセンター・横浜ラポールとの協働事業を開催します	実施		
		■地域団体が活動できる場を創出します	実施		
評価項目		令和5年度計画		実施状況	
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
1 子育て世代、子ども向けの利用促進		■大倉山花苗里親体験を行います	実施		
		■こども芸術祭を開催します	実施		
		■大倉山読育活動を実施します	実施		
		■大倉山ランタンナイトを開催します	実施		
		■大倉山キッズダンス発表会を行います	実施		
		■親子で一緒に楽しめるイベントを定期的に開催します	実施		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(様式24)	2 一般市民向けの利用促進	■防犯・防災啓発イベントを実施します	実施		
		■大倉邦彦と関係の深いタゴールのワークショップや縁ある人物の講義を実施します	実施		
		■大規模アートイベントの実施	実施		
		■地域のアーティストの起用	実施		
		■多摩大学と連携した伝統文化体験ワークショップ	実施		
	3 事業改善の提案	■外部サービスを導入しスタッフの接客や施設の評価を調査します	実施		
		■グループ会社の人材派遣企業との連携により安定的かつ効率的な人員体制を構築します	実施		
	4 公益性・公共性・利用者満足度の高いアイデア・ノウハウを積極的に提案し、施設や地域のファンを増やし、リピーター化を進める	(1)花とみどりによる清潔で潤いある環境を演出 ■施設入口に季節の花の寄せ植えやコンテナガーデンを設置	実施		
		■集会室や館内共有スペースに観葉植物を配置	実施		
		■トイレには生花や鉢物を配置し、環境美化に寄与	実施		
		■植物を通じて利用者や地域住民に環境保全啓発を実施	実施		
	4 苦情発生・要望への対応	(1)利用者ニーズに応じたさまざまなサービスの導入 ■アンケート調査・利用者懇談会などの利用者のニーズに迅速に対応して、運営にフィードバック	実施		
		■各室利用者や事業共催者へ事前予約によるお弁当販売の実施を検討	実施		
		■各種貸し出しグッズの提供や車いす、ベビーカーの無料貸出	実施		
		■館内に設置した授乳室をより快適で使いやすい環境に見直す	実施		
■催事開催時に子どもの預かりを行い、母親が安心して催事に参加できるサービスを検討		実施			
■館内ベンチの増設を検討		実施			
■英語等を話せる講師による催事を実施し、外国人も参加できるようにする □実施:年1回以上		年1回以上			
■館内に災害時対応機能付きの自動販売機を設置		実施			

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況		
II 施設運営	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用(様式24)	5 施設の特徴を熟知したスタッフによる安全・安心・快適を最優先に考えた運営組織を構築し、施設の顔として、利用者や地域住民・市民に最高の「おもてなし」を提供	(1)スタッフ研修 ■運営開始前および運営開始後の定期的かつ計画的な研修を実施 ■接客接遇や利用受付、緊急時対応等の基本的な内容の習得を目標とする	実施			
		□入社・運営開始前研修:1回	1回			
		□基礎研修:年2回	年2回			
		(2)スタッフミーティングの開催 ■各種ミーティングを開催し、情報共有およびチームワークを醸成 ■朝礼・全体会議等、定期的なミーティングを開催	実施			
	6 利用者や市民へ質の高いサービスを提供できる人材育成を行い、「顔の見える運営」を実践		(1)地域住民、地域の各種団体、関係機関等との連携体制の確立 ■地域住民へのお声がけなど、スタッフから積極的にコミュニケーションを図る ■ゴミ拾いや花植え活動など、明るく見通しの良い環境づくりに努める (2)大倉精神文化研究所との連携強化 ■日頃からスタッフ同士の積極的なコミュニケーションを図る	実施		
			□連絡調整会:月1回(モニタリング)	月1回		
			(3)地域の各種団体等との連携強化 ■大倉山地区連合町会や大倉山夢まちづくり実行委員会への加入を検討	実施		
			□町内会や地域の集会への参加:年4回 (4)官民協調体制の確立	年4回		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況	
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
1 保守管理業務 (使命4)	1 経験と実績を活かした的確な日常管理	(1)安全・安心できる施設の維持 ■「業務の基準」の設備等保守管理項目を遵守し、日常的・定期的な施設点検を実施。必要に応じて緊急点検を実施	実施		
		■施設・設備維持管理の専門スタッフを配置	実施		
		□定期的な施設点検:月1回	月1回		
		□建築物点検マニュアル及び建築物定期報告に準拠した点検:年1回	年1回		
		●駐車場の運営 ■安全に充分注意し、希望者ができるだけ駐車場を利用できるよう臨機応変に対応	実施		
		○全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 □毎日、開閉館時にチェックシートを用いて、駐車場内の巡回点検を実施	1日2回以上		
	2 高い専門性を有する市内事業者による定期・法令点検の徹底	(1)中長期視点での施設・設備の維持管理計画の立案 ■引継ぎ期間中に構成団体および市内の専門事業者が施設・設備を点検し、中長期視点での施設・設備の維持・保全計画を立案する	実施		
		■引継ぎ期間中に、修繕履歴から現状と課題の把握、部品調達先の確認する	実施		
		□中長期計画の策定:年1回	年1回		
	3 どなたにも安全・安心で快適な空間を提供	(1)快適で安心できる環境の維持 ■「業務の基準」の清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、チェックリストを作成し、日常・定期清掃を実施	実施		
		■構成団体の専門家による日常点検チェックリストを作成し、日々、スタッフが巡回点検	実施		
		(2)樹木・公園設備等の点検管理 ■代表団体のグループ会社に所属する樹木医や造園施工管理技能士による植物の点検と日常手入れの助言を実施	実施		
		□樹木診断:年1回	年1回		
		■「業務の基準」の公園管理項目一覧を遵守	実施		
		■北部公園緑地事務所との連携	実施		
	4 適正な情報公開	(1)迅速で適切な情報公開 ■情報の公開にあたっては、市の情報公開条例を基本とした「情報公開規定」を策定し、適切な情報公開体制を確立	実施		
■施設の管理運営に関する情報は、市民(利用者)からの請求(問い合わせ)があった時だけでなく、積極的に自主的な情報提供を行う		実施			

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

5	人権の尊重	(1)人権尊重の取組 ■スタッフの採用にあたっては、男女の区別なく適材適所の人材登用を進める	実施		
		■障がい者雇用の促進を図るとともに、授産施設からの物品購入をはじめ、障がい者との共生に積極的に取り組む	実施		
		■すべてのスタッフに対し、業務基本研修、人権研修等を実施	実施		
		□人権研修:年1回	年1回		
評価項目		令和5年度計画	実施状況		
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
6	環境への配慮	(1)環境への配慮 ■環境に配慮し、廃棄物発生抑制に努める	実施		
		■「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動指針」「ヨコハマ3R」等市の施策や事業に協力する	実施		
		■花苗の植え付を通じて、子どもたちをはじめ市民に環境学習機会を提供し、環境意識の啓発に努める	実施		
7	市内中小企業への優先発注	(1)市内中小企業振興の取組 ■横浜市中小企業振興基本条例に基づき、資材・消耗品等の購入や設備機器管理、定期点検等の委託業務は、市内中小企業等へ優先的に発注を行い、地域企業の育成に貢献する	実施		
8	備品等の適切な管理	■備品等は、常に良好な状態に保ち、管理します。	実施		
		□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告します。	実施		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況	
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
2 環境維持管理業務 (使命4)	1 市の指定有形文化財であることを十分に理解し、横浜市文化財保護条例を遵守	(1)施設・設備の予防保全 ■過去の修繕履歴をしっかりと引継ぐ	実施		
		■現状の把握、問題箇所の抽出、材料・部品等の調達先(メーカー等)の確立を行う	実施		
	2 予防保全に努め小破修繕を実施し、施設の長寿命化と経費削減を両立	(1)中長期視点での施設・設備の修繕計画の立案 ■引継ぎ期間中に構成団体および市内の専門事業者が施設・設備を点検し、中長期視点での施設・設備の修繕計画を立案	実施		
		□中長期修繕計画の策定:年1回	年1回		
	3 「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策と緊急時対応体制の整備を実施	(1)「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策 ■事故などの原因となる現象や状況(ハザード)をまとめた、ハザードマップを作成	実施		
		■防犯カメラの設置箇所について、適宜見直しを行う	実施		
		■「港北AAA防犯情報メール」への登録	実施		
		□日常巡回点検:1日2回以上	1日2回以上		
		□外部委託スタッフを含む全スタッフへの研修および勉強会:年2回	年2回		
		(2)利用料金の確実な管理 ■事務所に、警備会社が提供する入金機を設置	実施		
3 保安警備業務 (使命4)	(3)利用者の安全・安心の確保 ■スタッフによる定時巡回を実施	実施			
	■スタッフ不在となる時間帯は機械警備を行い、24時間の警備体制を構築	実施			
	(4)全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 ■毎日、開閉館時にハザードマップを基に作成したチェックシートを用いて、施設内の巡回点検	実施			
	□日常巡回点検:1日2回以上	1日2回以上			
4 防火・防災等 (使命4)	情報の一元管理と市・本部との情報共有体制の構築および、緊急時の速やかな対応と施設被害の軽減を図る	(1)緊急時対応体制の構築とマニュアルの整備 ■防火管理者を配置	実施		
		■防火計画書を作成し、消防署へ提出	実施		
		■横浜市防災計画に基づく対応マニュアルと連絡網を整備	実施		
		■連絡網は、市・区に提出	実施		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

	の最小化、迅速な利用再開への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■各関連機関の電話番号を事務所電話の短縮に登録・掲示 ■マニュアルと連絡網は、携帯用冊子にし、スタッフは常に携帯 ■大規模災害等が発生した場合は、行政機関と協力し、迅速な利用再開に努める 	実施		
			実施		
			実施		
評価項目		令和5年度計画		実施状況	
Ⅲ施設管理	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
4 防火・防災等(使命4)	2 積極的な人道的措置の実施、自発的な防災備蓄整備や地域と連携した共同防災体制の構築	(1)日常における防災対策の実施 ■防災・防火訓練を実施	実施		
		□消防・防火・防災訓練:年2回	年2回		
		■災害用備蓄品を準備するとともに、リストを作って管理し、定期的に確認、備蓄を更新	実施		
5 緊急時の対応(使命4)	3 利用者の安全確保を最優先に考えた対応	(1)緊急時のためのスタッフ確保 ■緊急時に迅速な現場対応ができるよう、近隣在住スタッフを確保	実施		
		■利用者へ、避難導線をお伝えし、避難場所の指導	実施		
		■訓練により判明した課題をマニュアルに反映	実施		
4 緊急時の対応(使命4)	4 電気主任技術者による適切な設備管理	(1)当グループの電気主任技術者による維持管理 ■自家用電気工作物の保安、監督を実施	実施		
		■施設・設備維持管理の専門スタッフを配置	実施		
		■自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督業務を適正・的確に行う	実施		
		■自家用電気工作物が、人体に危害を及ぼしたり物件に損傷を与えたりしないよう維持	実施		
4 その他施設運営に関する事項	5 施設の管理を行う上で必要な資格者の配置	2種電気工事士	配置		
		消防設備士乙6類・乙4類	配置		
		危険物取扱者 乙4類	配置		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況	
IV 収支	指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明
1 指定管理料のみに依存しない収入構造(様式22)	1 利用料金は、現行料金を維持。他施設の状況調査および利用者の声を聴き、参考意見を収集	(1) 安定した利用料金収入の確保 ■貸出情報をWEBサイトやSNSで発信し、稼働率の向上を図る	実施		
		■定期的に利用者の声を聞き、その内容を可能な限り運営に反映	実施		
		■利用者と連携し、CDや自作のアート作品を販売する「物販」も積極的に実施	実施		
	2 稼働率の向上と安定した収入確保を目指す	(1) ロケ・撮影利用の拡大 ■積極的な広報PRで、ロケや撮影の利用を増やし、収入確保につなげる	実施		
□メディア撮影・ロケ撮影協力		年間35件			
		□フォトロケーション撮影協力	年間2件		
2 経費削減等効率的運営の努力(様式22)	1 スタッフの効率的な運営によるコスト削減と施設の魅力や価値の広い発信による利用促進で収入増を図る	(1) 効率的・効果的な維持管理運営によるコスト削減 ■マルチジョブシステムを採用し、スタッフの効果的な配置と効率的な運用により、コスト削減に寄与	実施		
		■スタッフの定期巡回により、節電や空調管理を徹底	実施		
		■エネルギー管理を強化し、次年度以降の目標策定に役立てる	実施		
	2 効率的な施設運営による経費削減策の実施	(1) 光熱水費の削減努力 ■日々の節電・節水・空調温度設定管理、可能であれば設備運転時間の変更を実施	実施		
■設備の改善・修繕などの設備投資型省エネルギー対策(省エネルギー機器を更新導入)を可能な範囲で徐々に取り入れ、さらなる使用量削減・コスト削減を目指す		実施			
■施設スタッフはもちろん、各室やトイレにも節電や節水への協力を依頼する案内等を掲示し、利用者にも呼び掛ける		実施			
V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価	業務の基準	取組内容	目標	年間実績	説明
	1 日報、月報の作成・管理	■日報、月報の作成・管理を実施	実施		
	2 事業計画書・事業報告書の作成・管理	■事業計画書・事業報告書の作成・管理を実施	実施		
	3 業務評価の実施	■帳票を作成し月ごとに業務評価の実施	実施		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

VI その他	選定要項	取組内容	目標	年間実績	説明
1 市の重要政策課題への対応 (様式25)	1 個人情報保護についての取組	<p>■日本情報処理開発協会(JIPDEC)の「プライバシーマーク」認証に準拠した個人情報保護に努めます。グループ内の個人情報保護窓口の管理のもと、法令遵守と情報の漏洩や不正アクセスなどによるデータ破損・盗難・改ざんなどのリスクを十分に理解した上で管理体制の構築を行い、保管場所のセキュリティ強化、管理台帳の作成、リスクチェックシートの作成を実施します。また、SNSの運用ルールやマナー、個人情報の取扱いに対する理解を深めるため、コンプライアンス研修を実施します。</p>	実施		
		<p>□全スタッフに対する個人情報保護研修および試験の実施:年1回</p>	年1回		
	2 情報公開についての取組	<p>■施設窓口や電話での問合せに対し、原則的に全ての情報を公開することを前提に、その内容に応じた適切な情報の開示を行います。ただし、市との協議を必要とするもの(情報開示請求の手続きを必要とするもの)に関しては、その手続き方法を案内します。施設の管理運営に関する情報は、市民(利用者)からの請求(問い合わせ)があった時だけでなく、積極的に自主的な情報提供を行います。開示請求に対して非公開とした場合は、その旨と理由を遅滞なく通知します。</p>	実施		
	3 人権尊重についての取組	<p>■このため私たちは、年1回、全スタッフに業務基本研修、人権研修等を実施し、公平・平等利用に関する知識習得や人権問題の正しい理解に努めます。また市や外部のセミナーにも積極的に参加し、幅広い内容の理解に努めます。構成団体ではシニア世代や障がい者の雇用に積極的に取り組んでいる実績を含め、横浜型地域貢献企業の最上位認定を受けています。</p>	実施		
4 環境への配慮に関する取組		<p>■日々の業務、維持管理業務における環境負荷低減を進めます ・維持管理業務において、ISO14001の基準に基づき、環境負荷の低減に配慮した維持管理に努め、「横浜市地球温暖化対策実行計画」「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」など市の進める環境施策に協力します。</p>	実施		
		<p>■市民、利用者に対する環境意識の啓発を行います ・地域と一体となって環境配慮イベント等のさまざまな体験活動を実施し、子どもたちをはじめ市民に環境学習機会を提供することで、市や私たちの環境配慮活動について情報発信します</p>	実施		

令和5年度 横浜市大倉山記念館 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

	5	障害者差別解消	■特別支援学校や就労支援センター等と連携し、障がい者の就労体験(主に清掃業務)の積極的な受け入れを行っています。社内でもセミナーや勉強会を開いて障がい者への理解を深めているため障がい者の定着率が高く、かながわ障害者雇用優良企業の認定を受けています。当施設においても障がい者の活躍の場を積極的に設け、いきいきと働くことができる環境を整備します。	実施		
	6	男女共同参画	■横浜市男女共同参画行動計画」に基づきスタッフ採用にあたって男女の区別なく門戸を開き、適材適所の人材登用を進めていきます。	実施		
	7	市内中小企業優先発注についての取組	■横浜型地域貢献企業の最上位認定を受けています。横浜市内中小企業振興基本条例に基づき、資材・消耗品の購入や設備機器管理、定期点検等の委託業務は、市内中小企業等へ優先的に発注を行い、地域企業の育成に貢献します	実施		
VI その他		選定要項	取組内容	目標	年間実績	説明
2 その他	1	保険及び損害賠償の取扱い	・施設賠償責任保険 ・イベント傷害包括保険	加入		
	2	関係法令等の順守	■法令遵守を徹底します。	遵守		
	3	市及び関係機関等との連絡調整	■横浜市役所・港北区役所との適切な連絡調整を実施します。	実施		

令和5年度 「大倉山記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	28,697,000		28,697,000		28,697,000	横浜市より(令和5年度数値)
利用料金収入	9,810,100		9,810,100		9,810,100	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入			0		0	
自主事業収入	1,744,332		1,744,332		1,744,332	
雑入	3,252,000	0	3,252,000	0	3,252,000	
印刷代	72,000		72,000		72,000	
自動販売機手数料	550,000		550,000		550,000	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他()	2,630,000		2,630,000		2,630,000	
収入合計	43,503,432	0	43,503,432	0	43,503,432	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,689,092	0	22,689,092	0	22,689,092	
給与・賃金	18,773,510		18,773,510		18,773,510	
社会保険料	2,651,982		2,651,982		2,651,982	
通勤手当	888,000		888,000		888,000	
健康診断費	104,400		104,400		104,400	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	271,200		271,200		271,200	
事務費	1,700,976	0	1,700,976	0	1,700,976	
旅費	66,000		66,000		66,000	
消耗品費	645,880		645,880		645,880	
会議賄い費	24,000		24,000		24,000	
印刷製本費	160,000		160,000		160,000	
通信費	395,862		395,862		395,862	
使用料及び賃借料	116,840	0	116,840	0	116,840	
横浜市への支払分	81,840		81,840		81,840	
その他	35,000		35,000		35,000	
備品購入費			0		0	
図書購入費	13,200		13,200		13,200	
施設賠償責任保険	82,160		82,160		82,160	
職員等研修費	22,000		22,000		22,000	
振込手数料	3,000		3,000		3,000	
リース料	122,034		122,034		122,034	
手数料	0		0		0	
地域協力費	50,000		50,000		50,000	
事業費	1,844,332	0	1,844,332	0	1,844,332	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	100,000		100,000		100,000	
自主事業費	1,744,332		1,744,332		1,744,332	
管理費	12,065,827	0	12,065,827	0	12,065,827	
光熱水費	4,869,715	0	4,869,715	0	4,869,715	
電気料金	4,478,400		4,478,400		4,478,400	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	391,315		391,315		391,315	
清掃費	3,362,304		3,362,304		3,362,304	
修繕費	1,232,000		1,232,000		1,232,000	
機械警備費	462,000		462,000		462,000	
設備保全費	1,530,408	0	1,530,408	0	1,530,408	
空調衛生設備保守	264,000		264,000		264,000	
消防設備保守	319,000		319,000		319,000	
電気設備保守	303,138		303,138		303,138	
害虫駆除清掃保守	88,000		88,000		88,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	556,270		556,270		556,270	
共益費	609,400		609,400		609,400	
公租公課	2,264,204	0	2,264,204	0	2,264,204	
事業所税			0		0	
消費税	2,264,204		2,264,204		2,264,204	
印紙税	0		0		0	
その他()			0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	2,925,801	0	2,925,801	0	2,925,801	
本部分	2,439,803		2,439,803		2,439,803	
当該施設分	485,998		485,998		485,998	
二一ズ対応費	13,200		13,200		13,200	
支出合計	43,503,432	0	43,503,432	0	43,503,432	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0	
自主事業費支出				0	
自主事業収支				0	
管理許可・目的外使用許可収入				0	
管理許可・目的外使用許可支出				0	
管理許可・目的外使用許可収支				0	